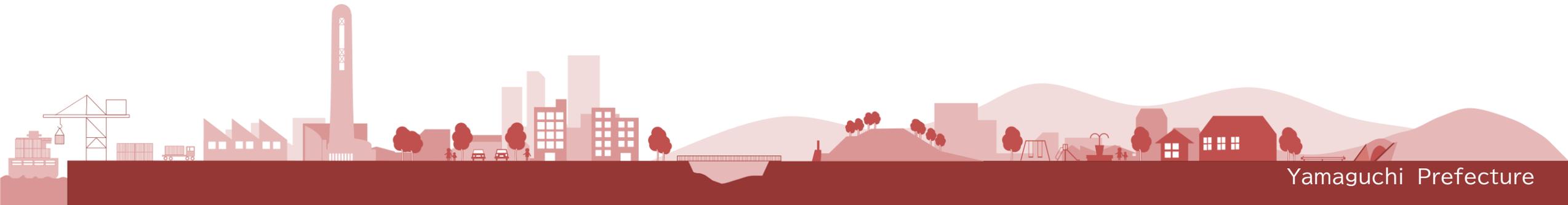


# 山口県における 道路維持管理の広域連携について

山口県 土木建築部 道路整備課 吉村 崇



## 1 イントロ（群マネ、広域連携に臨む際の基本認識）

- ・ 国、県、市町村の関係
- ・ 行政～住民の関係

## 2 山口県庁内の「ゲリラ勉強会」の様子

- ・ 包括的民間委託
- ・ 群マネ

## 3 山口県の取組状況、今後

- ・ 周南地域での「広域連携モデル事業」
- ・ 県庁として、今後やりたいこと

地方自治体は「ルール」を自分たちで変えられる！

追加スライド



「山口県管理道のガードレールは黄色」  
なぜ、実現しているのか？



昭和38年に山口県で国体が開催され、  
当時の知事が県名産の夏みかんの・・・

山口県が、「土木工事共通仕様書」に  
独自でルールを定めているから



**ルールは自分たちで変えられる**

例 ) 発注方法、報告書類の有無、  
住民への情報発信・・・



1995年 (平成7年)

2020年 (令和2年)



25年間で  
- 40%

29歳以下の就業者数は  
25年間で  
- 65%

1995年 (平成7年)



16 MB

2020年 (令和2年)



8,000 MB ( 8 GB )

25年間で

+500倍



「生き字引」  
何でも知ってる  
ベテラン職員



退職・異動されると困る!?



作成・提出される  
紙の記録



手書き・印刷・電話・紙供覧 … 昔はその方法しか無かったが、既に **状況** や **環境** は変わった

建設業就業者の激減

便利で高度なツール

ムダな仕事をする余裕は無いが、「役所の指示」が変わらなければ、(面と向かっては言わず)そのまま…

## 1 イントロ（群マネ、広域連携に臨む際の基本認識）

- ・ 国、県、市町村の関係
- ・ 行政～住民の関係

## 2 山口県庁内の「ゲリラ勉強会」の様子

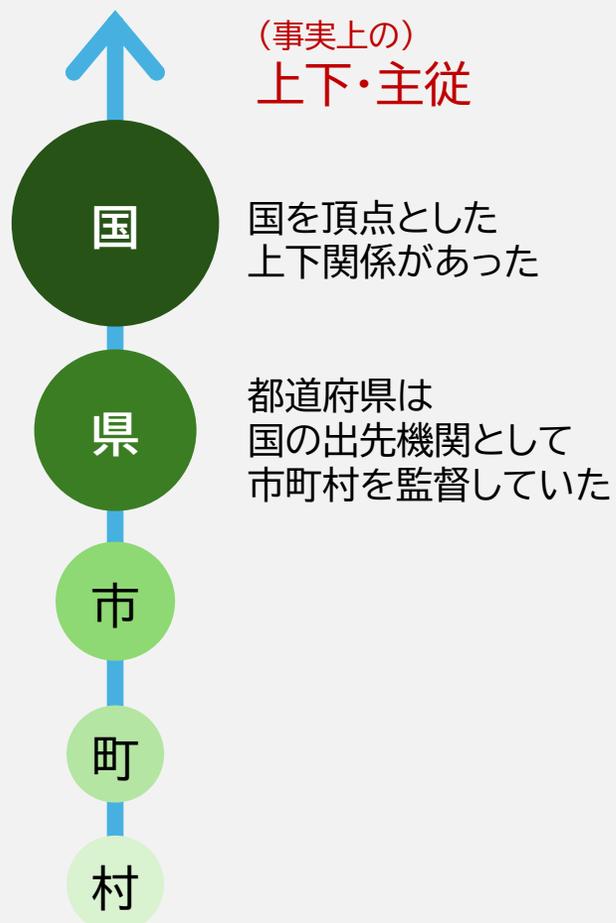
- ・ 包括的民間委託
- ・ 群マネ

## 3 山口県の取組状況、今後

- ・ 周南地域での「広域連携モデル事業」
- ・ 県庁として、今後やりたいこと

～1945年

昔



戦後、および、1990年代の地方分権～(現在)

現在



対等・  
相互協力



普通地方公共団体(都道府県及び市町村)は、**地方自治の本旨に基づき**、  
それぞれの区域における行政を**自主的かつ総合的に実施する**役割を広く担うものとする。  
(地方自治法 第1条の2) ※この他にも、国や都道府県の関与制限も明記(第245条関係)

いわゆる  
“広域自治体”



対等・  
相互連携

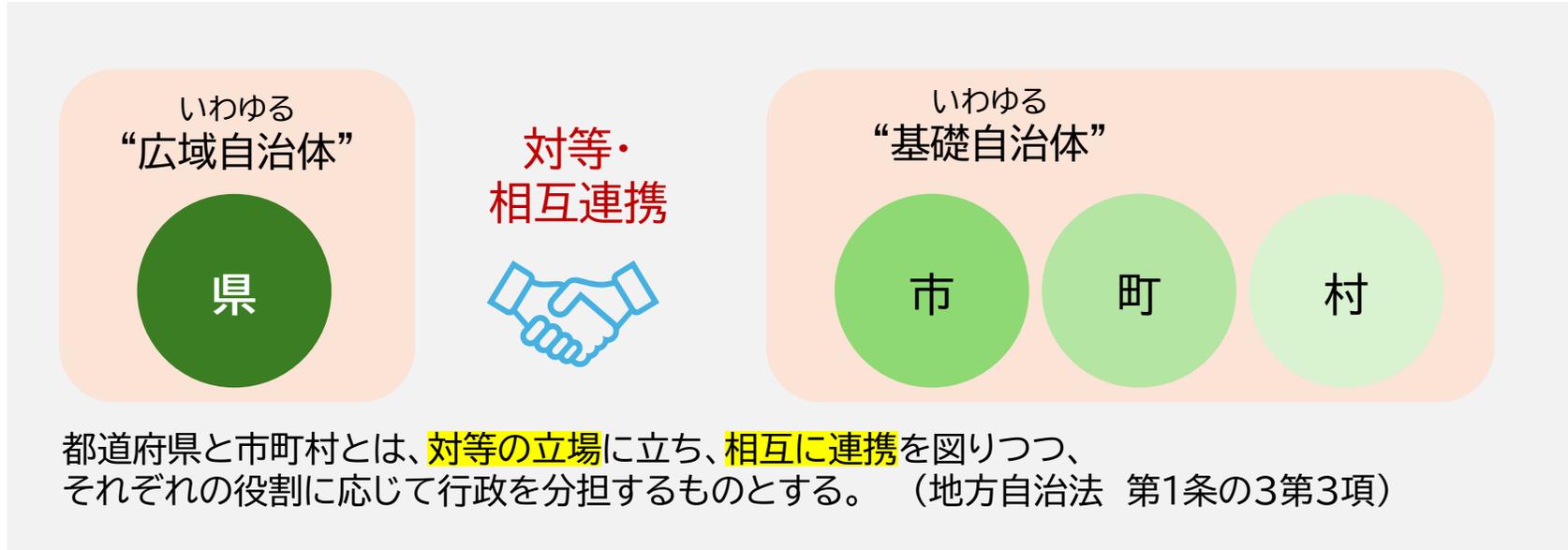


いわゆる  
“基礎自治体”

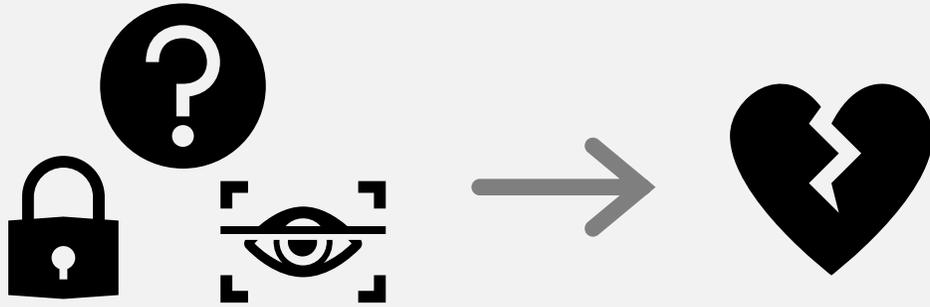


都道府県と市町村とは、**対等の立場**に立ち、**相互に連携**を図りつつ、  
それぞれの役割に応じて行政を分担するものとする。(地方自治法 第1条の3第3項)

## ✕ 県が、市町村を助ける ???

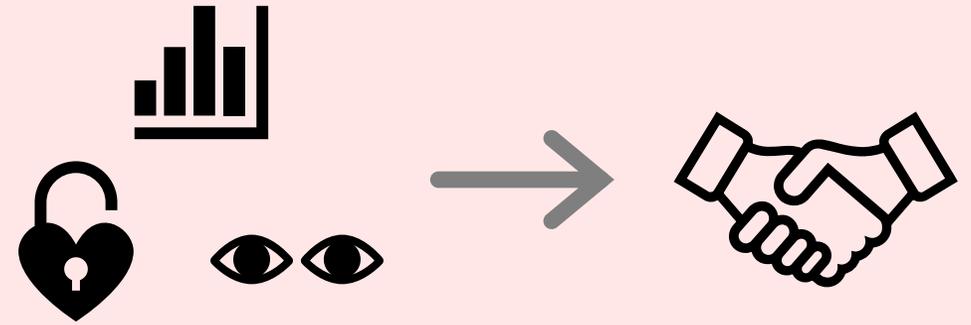


- ☑ 県と市町村は、対等な立場！（上下関係では無い。）
- ☑ それぞれに異なる役割があり、相互に連携して分担する！



年収、職業、判断基準 …

**隠してばかり** の人を、信頼できる？



☑ 情報の公開(**見える化**)は、  
信頼関係構築の必須条件

例えば、道路の維持管理では…

- 住民から行政に、どんな要望があり、どう対応しているのか
- 自治体は、何をしているのか、なぜ断るのか、お金をいくら使っているのか
- 建設業者は、いつ、どこで、どんな作業をしているのか
- 隣の市では、同じような要望に対して、どう対応しているのか

住民、ユーザーの  
生活・産業・文化



インフラ



...

群マネ

広域連携

DX

情報見える化

...

...

行政



地域の建設業者等



## 1 イントロ（群マネ、広域連携に臨む際の基本認識）

- ・ 国、県、市町村の関係
- ・ 行政～住民の関係

## 2 山口県庁内の「ゲリラ勉強会」の様子

- ・ 包括的民間委託
- ・ 群マネ

## 3 山口県の取組状況、今後

- ・ 周南地域での「広域連携モデル事業」
- ・ 県庁として、今後やりたいこと

2025/10/14 公表



手引きの裏表紙  
↓

**⚠ 警告 (けいこく)**  
インフラ管理者の方へ 必ずお読みください

- 本製品を長時間放置しないでください。この手引きを放置しているあいだにも、インフラ老朽化は進んでいきます。

**⚠ 注意 (ちゅうい)**

- 本製品は絶対に一人で読まないでください。チームで課題やアイデアを共有することが何より重要です。
- 本製品を改造してもかまいません。自分の地域に合わせて工夫することは大歓迎です。
- 電池は付属していません。エネルギーは、あなたの情熱から生まれます。

「自分は、何をすべきか？」

群マネについて、一緒に勉強しましょう！

10/23 Teamsで参加案内

### ●内容(予定)

- ・国の「群マネの手引き」を一緒に読みながら、目的などを勉強～議論する。(講師はいません。)
- ・道路整備課で、周南エリアで試行していることを情報共有する。
- ・県としてやるべきことや、懸念点などを、議論する。(結論を出す場ではなく、ブレストのイメージ)
- ・群マネのことを勉強・議論する場であり、参加時点で詳しい知識などは一切不要です。

----- 以下、今回のお誘いの趣旨・意図です。 -----

国交省が10/14に公表した「群マネの手引き Ver.1」は、もう読みましたか？

私は、所属内や幹部等と話していく中で、「群マネについて、個人間の認識・理解のズレが大きい」と感じています。

例えば、「群マネって、市町のことでしょ？」とか、「地元業者の受注機会を奪うし、調整できる訳ないじゃん」とか、「今の仕事で手一杯なのに、新しいことに手を出す暇ないよ。」とか……これらは、500%誤解です！！

……ということで、とりあえずみんなで手引きを読みながらブレストしてみればいいじゃん！と思った次第です。  
お気軽、かつ、前向きに、ご参加ください。

11/4 12名でブレスト

- 技術管理課
  - ・DX担当（4名）
- 道路建設課
  - ・新設道路担当(1名)
- 道路整備課
  - ・橋梁メンテ担当(2名)
  - ・市町事業担当(1名)
- 河川課
  - ・ダム管理担当(1名)
- 港湾課
  - ・海岸担当(1名)



年度	国の動き	
H24(2012)	笹子トンネル天井板崩落事故	
H25(2013)	道路法 改正 : 定期点検の法整備	全国で統一的なメンテナンスに着手
H26(2014)	<a href="#">社会資本整備審議会(道路分科会) 提言</a> <a href="#">最後の警告-今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ</a>	
	省令・告示施行: 法定点検(1回/5年義務)開始	
2014~2019 法定点検(1巡目) 2020~2024 法定点検(2巡目)	 地方公共団体(特に小規模な市町村)において 必要な修繕に着手できていない(施設:多、技術職員:少)	実態の顕在化 
R4(2022)	<a href="#">社会資本整備審議会(技術部会) 提言</a> <a href="#">総力戦で取り組むべき次世代の「地域インフラ群再生戦略マネジメント」</a>	「群マネ」の提案 
R5(2023)	「インフラメンテナンスにおける包括的民間委託導入の手引き」を公表	
R7(2025)	「群マネの手引き Ver.1」を公表	「群マネ」の普及促進

## 包括的民間委託 …… 民間事業者に、複数の業務や施設を包括的に委託すること

(補足)  
包括の程度

小

大

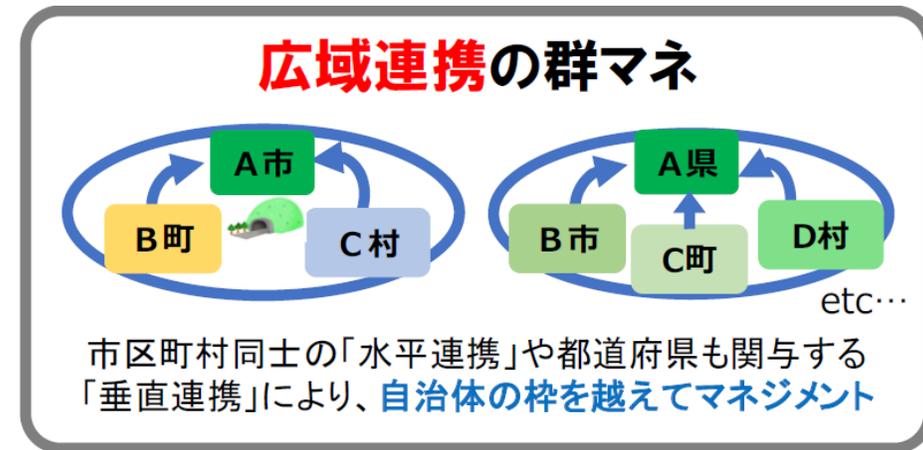
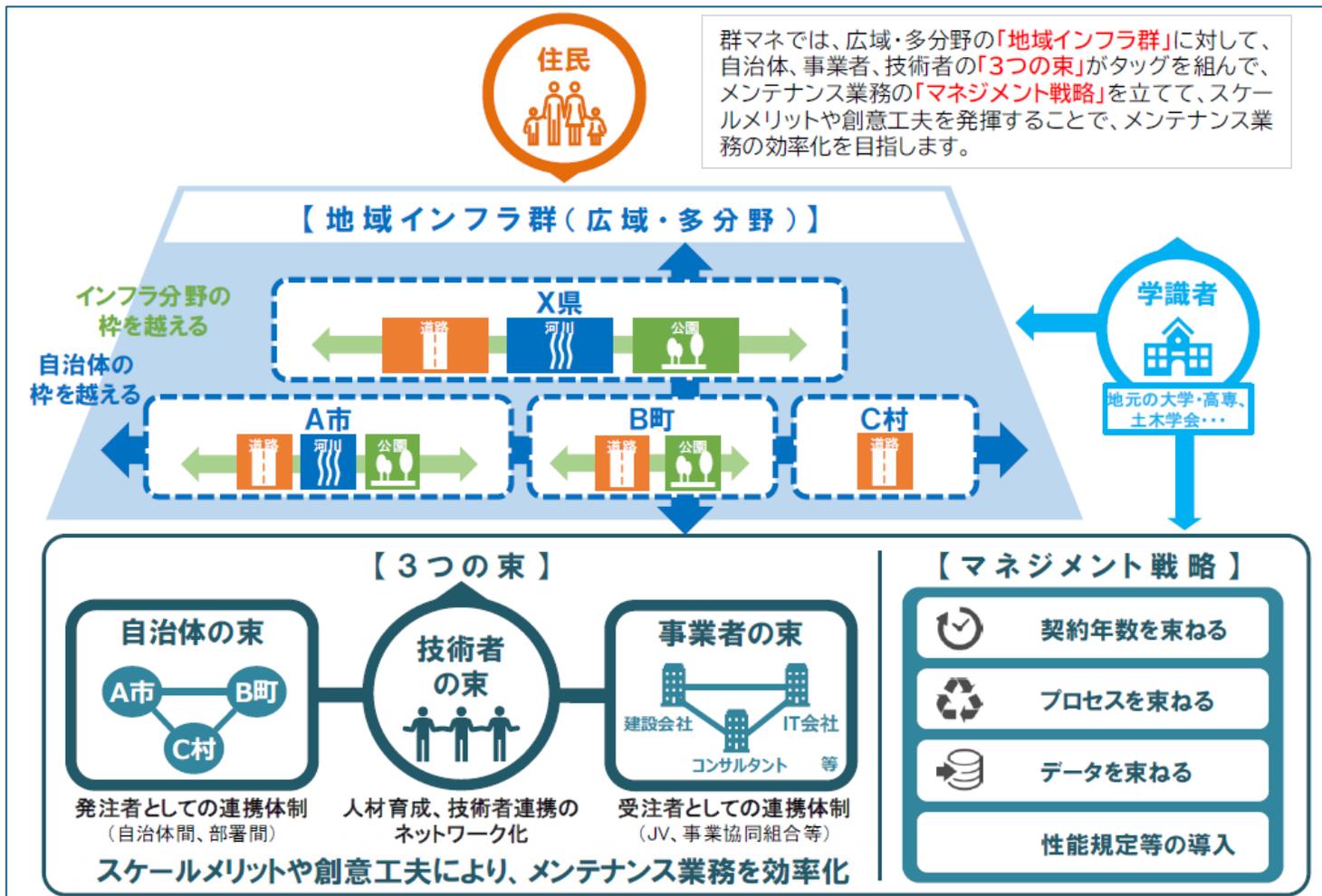
エリア	契約年数	施設分野	業務範囲	事業者の裁量	発注方式	支払方式
市域の一部	単年度	単一分野	清掃、除草、巡回、維持対応	仕様規定 (行政による判断・都度報告)	条件付き 一般競争 入札方式	単価契約
↓	↓	↓	↓	↓	総合評価 一般競争 入札方式	単価契約 + 総価契約
					実地判断 窓、 補修・更新 点検、修繕計画立案	性能規定 (民間による判断・事後報告)
市域全域*	複数年度	複数分野			公募型 入札方式	総価契約

- 課題や地域の実情等に応じて様々な組み合わせが考えられる(部分的・段階的でもOK)
- 委託先の民間事業者は、1社でも複数社でもOK

国交省・「インフラメンテナンスにおける包括的民間委託導入の手引き」を一部抜粋・加工

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/pdf/houkatsu\\_tebiki.pdf](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/pdf/houkatsu_tebiki.pdf)

**群マネ** … 複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉え、効率的・効果的にマネジメントする取組



国交省・「群マネの手引き Ver.1(群マネ入門超百科)」を一部抜粋・加工

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/gunmane.html>

「群マネ」にも、いろいろある

	単一分野のインフラ	複数分野のインフラ
単独自治体	<p><b>従来の方法（群マネ未導入）</b></p> <p>(X県) 道路 (X県) 河川 (X県) 公園</p> <p>(A市) 道路 (A市) 河川 (A市) 公園</p> <p>(B市) 道路 (B市) 河川 (B市) 公園</p>	<p><b>多分野連携の群マネ</b></p> <p>(X県) 道路 (X県) 河川 (X県) 公園</p> <p>(A市) 道路 (A市) 河川 (A市) 公園</p> <p>(B市) 道路 (B市) 河川 (B市) 公園</p>
複数自治体	<p><b>広域連携の群マネ</b></p> <p>(X県) 道路 (X県) 河川 (X県) 公園</p> <p>(A市) 道路 (A市) 河川 (A市) 河川</p> <p>(B市) 道路 (B市) 河川 (B市) 河川</p>	<p><b>広域連携&amp;多分野連携の群マネ</b></p> <p>(X県) 道路 (X県) 河川 (X県) 公園</p> <p>(A市) 道路 (A市) 河川 (A市) 公園</p> <p>(B市) 道路 (B市) 河川 (B市) 公園</p>

いろいろな群マネ（実施方法・契約手法等に縛られるものではない）

	単一分野のインフラ	複数分野のインフラ
単独自治体	<p><b>従来の方法（群マネ未導入）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直営作業</li> <li>従来型の民間委託 (例) 単一分野の単年度単価契約</li> <li>包括的民間委託 (例) 単一分野の総価・複数年契約</li> </ul>	<p><b>多分野連携の群マネ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直営作業</li> <li>従来型の民間委託 (例) 複数分野の単年度単価契約</li> <li>包括的民間委託 (例) 複数分野の単年度総価契約</li> </ul>
複数自治体	<p><b>広域連携の群マネ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直営作業</li> <li>従来型の民間委託</li> <li>包括的民間委託 (例) 単一分野の総価・複数年契約を共同発注</li> </ul>	<p><b>広域連携 &amp; 多分野連携の群マネ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直営作業</li> <li>従来型の民間委託 (例) 複数分野の単年度単価契約を共同発注</li> <li>包括的民間委託 (例) 複数分野の単年度総価契約を代行発注</li> </ul>

河川堤防と堤防周辺の道路の  
草刈りをまとめて実施



県道と市道の除雪を  
まとめて実施



まちづくりと道路を  
一緒に考え、一緒に整備



河川と道路の見える化システムを  
まとめて整備・管理



インフラの管理と魅力発信を  
まとめて実施



事務職だけでなく技術職も一緒に  
全職員でリクルート活動



## 1 イントロ（群マネ、広域連携に臨む際の基本認識）

- ・ 国、県、市町村の関係
- ・ 行政～住民の関係

## 2 山口県庁内の「ゲリラ勉強会」の様子

- ・ 包括的民間委託
- ・ 群マネ

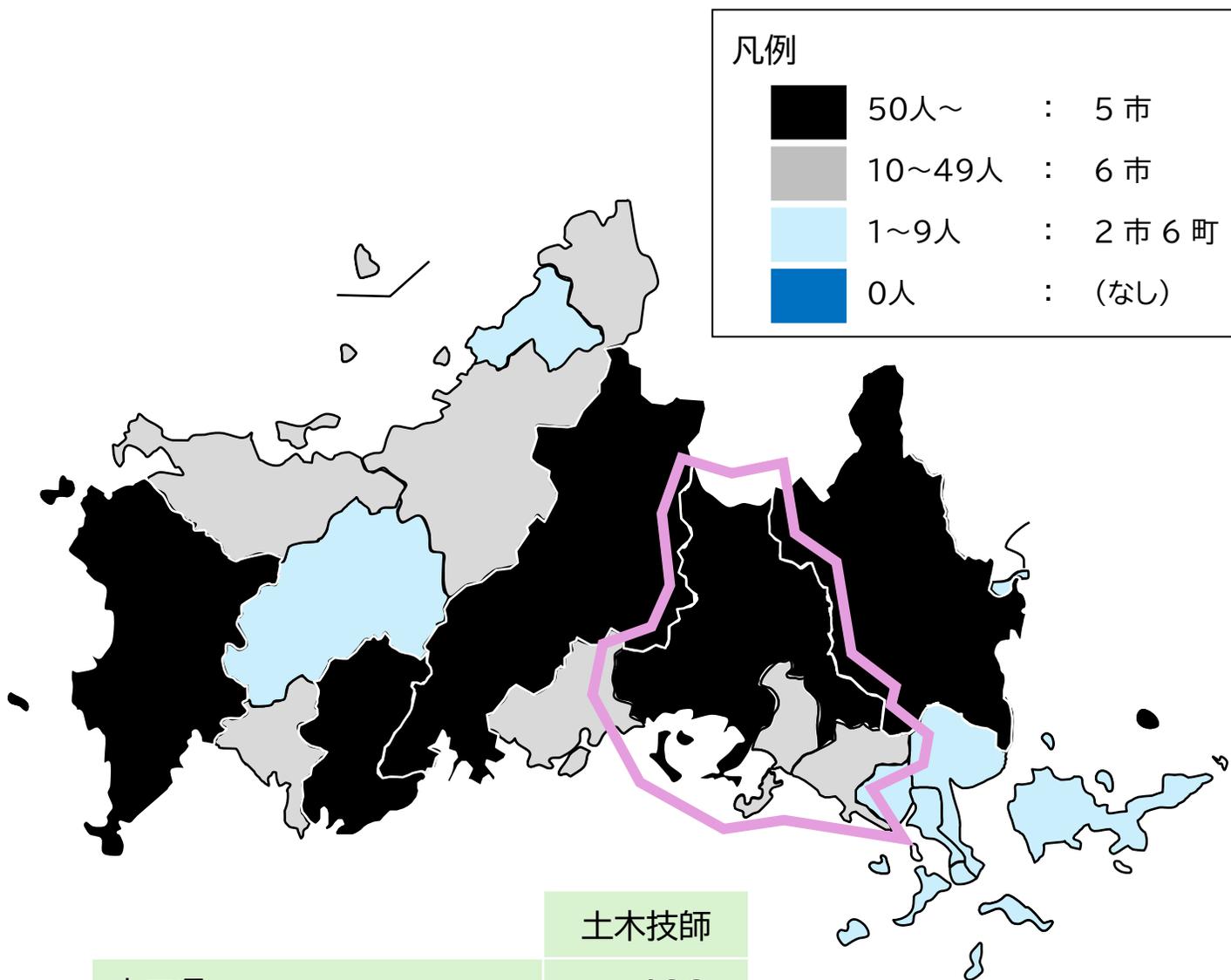
## 3 山口県の取組状況、今後

- ・ 周南地域での「広域連携モデル事業」
- ・ 県庁として、今後やりたいこと

### 3.1 山口県の取組（これまでの経緯、対応、現在）

年度	国の動き	山口県の取組
H21(2011)		県と山口大学と技術者養成講座(ME山口)を開始
H23(2011)		県と市町との勉強会「山口県の橋梁を考える」開始
H24(2012)	笹子トンネル天井板崩落事故	
H25(2013)	道路法 改正：定期点検の法整備	
H26(2014)	<a href="#">社会資本整備審議会(道路分科会) 提言</a> <a href="#">最後の警告-今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ</a> 省令・告示施行：法定点検(1回/5年義務)開始	
2014～2019 法定点検(1巡目)、2020～2024 法定点検(2巡目)		
R4(2022)	<a href="#">社会資本整備審議会(技術部会) 提言</a> <a href="#">総力戦で取り組むべき次世代の「地域インフラ群再生戦略マネジメント」</a>	
R5(2023)	「インフラメンテナンスにおける包括的民間委託導入の手引き」を公表	県独自の「AI橋梁点検診断システム」を導入し、県内市町にも提供して、運用を開始
R6(2024)		県と周南3市の広域連携モデル事業に着手(2/28)
R7(2025)	「群マネの手引き Ver.1」を公表(10/14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁有志の勉強会をゲリラ開催(11/4)</li> <li>・県庁HPに「群マネ」ページを新設公開(12/22)</li> </ul>

## 3.2 山口県 及び 県内19市町の土木技術職員数



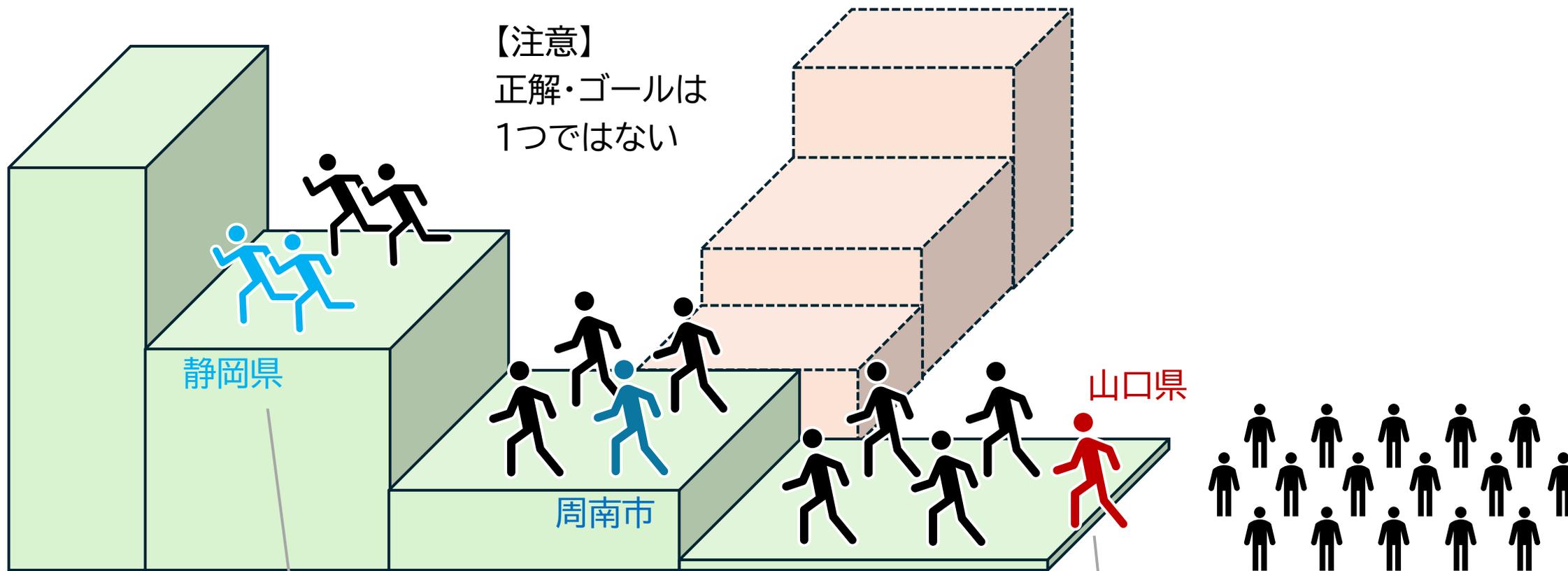
	土木技師
山口県	433
うち、周南土木建築事務所	24

(人数順)	土木技師
周南市	80
下関市	70
宇部市	69
岩国市	68
山口市	60
防府市	39
長門市	※1 20
山陽小野田市	19
下松市	18
光市	17
萩市	15
柳井市	8
美祢市	7
田布施町	7
平生町	4
和木町	4
阿武町	2
上関町	※1 2
周防大島町	1

表の数値は下記統計に基づいて作成 (※1 県独自調査で追記。)

総務省 令和5年度 地方公共団体定員管理調査結果 2023.4.1現在

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/teiin/index.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/teiin/index.html)



静岡県

広域連携	運用を開始済 (県内一部地域)
他分野連携	今後対応予定
連携ツール	運用を開始済

山口県

広域連携	情報交換を開始 (具体的には未定)
他分野連携	今後着手予定
連携ツール	構築に着手



包括的民間委託の取組のおかげで、  
**単純作業が激減**して、仕事が楽になった！

従来より**時間に余裕が生まれた**おかげで、  
他の現場での指導を充実することができた！



広域連携によって、発注や契約の方法を見直して、  
**事務作業が激減**して、仕事が楽になった！

ウチの地域も  
やって欲しい！！

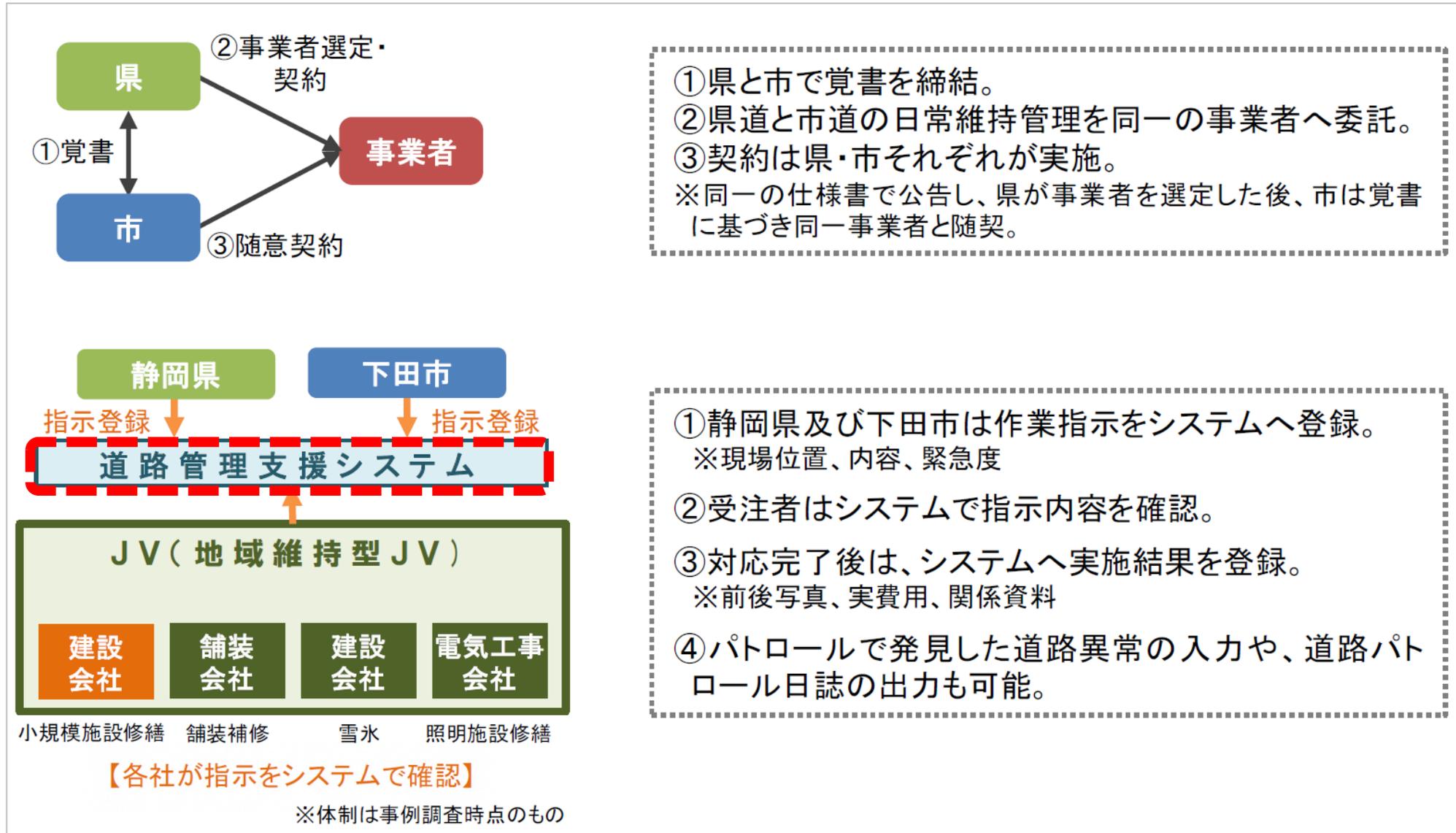


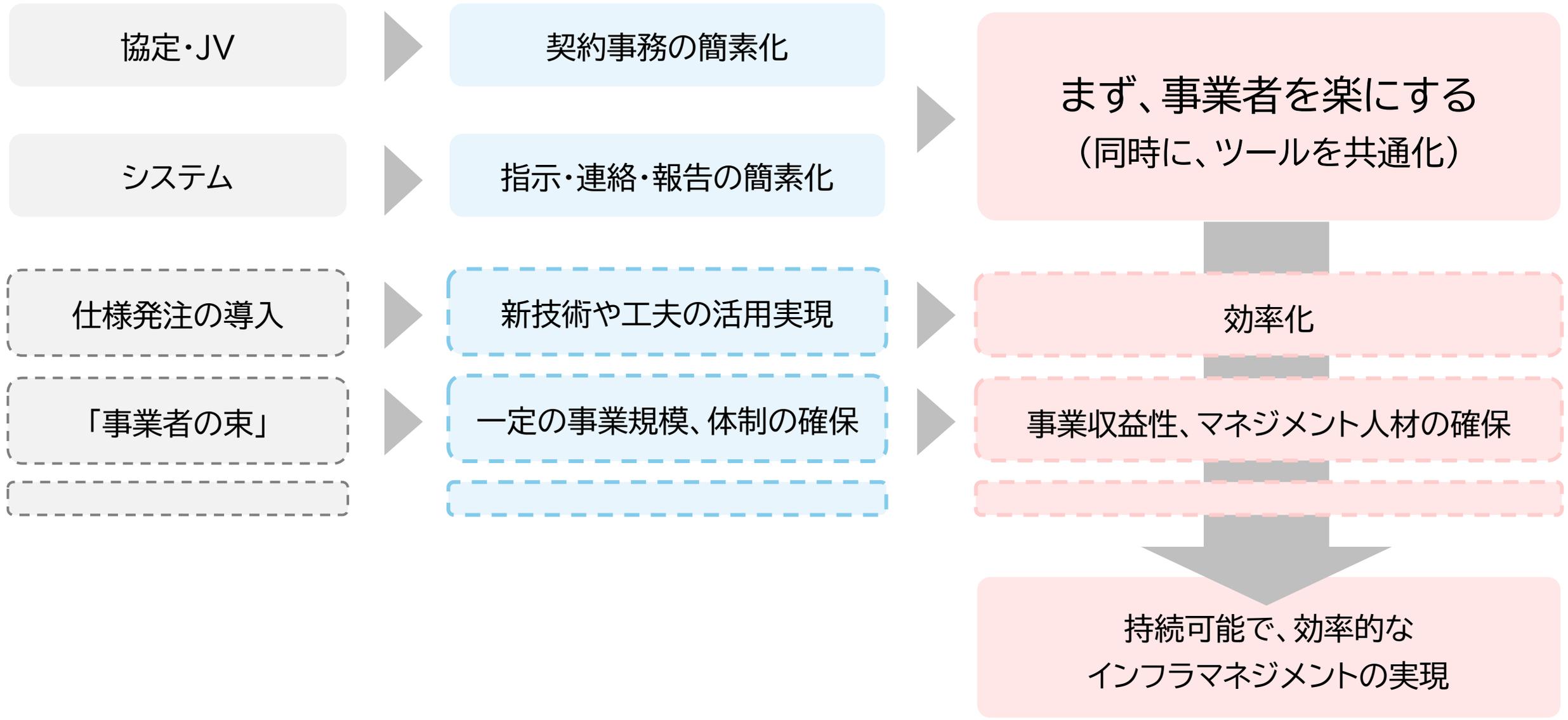
※ 静岡県の取組については、「群マネの手引き Ver.1」等を参照

群マネの手引きver.1 (p.13) … <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/gunmane.html>

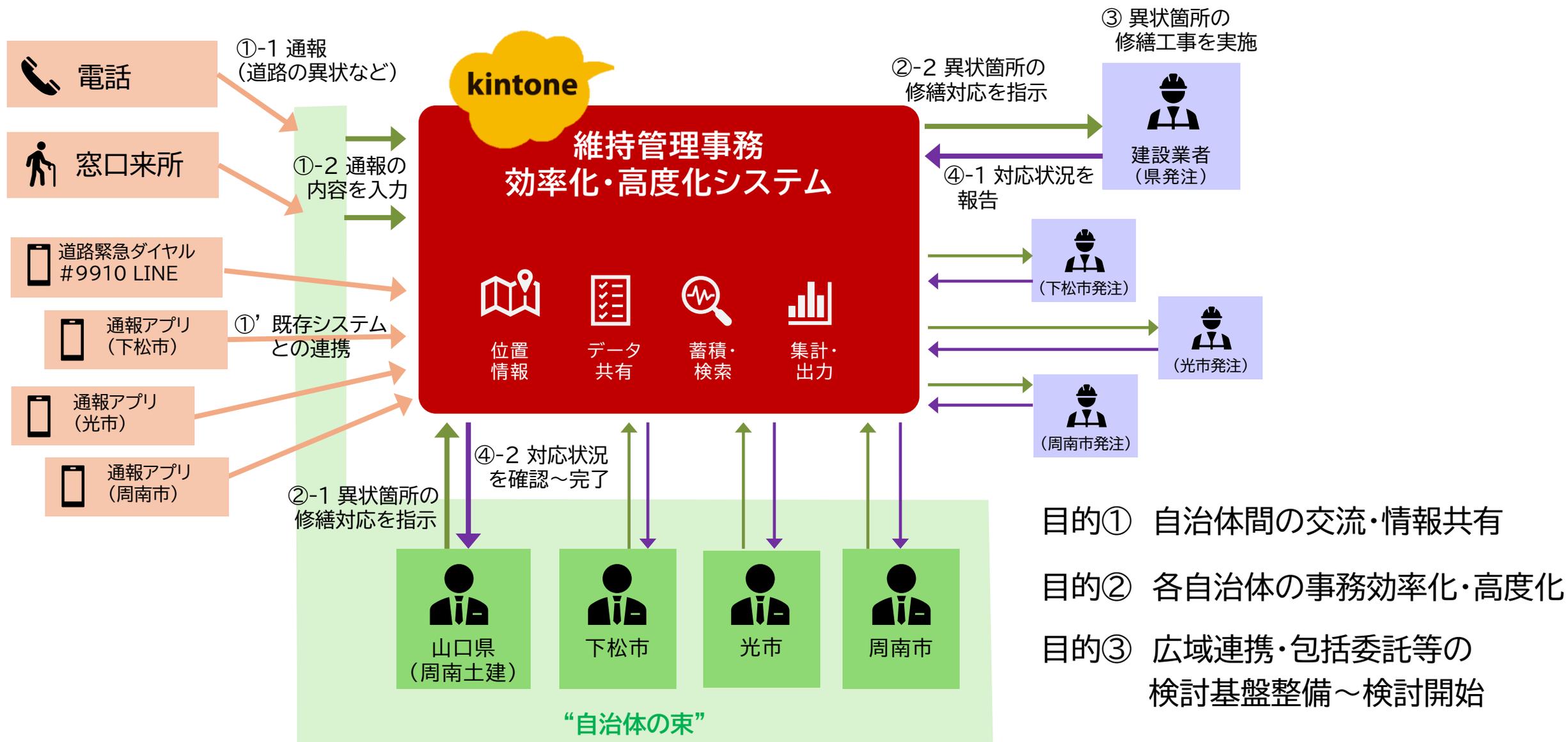
静岡県の包括管理委託 … <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001860333.pdf>

地域JV資料 … <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001860285.pdf>





周南地域での道路維持広域連携のR7年度取組イメージ



(1) 県～周南エリア3市のミーティング

① R7.4月



② R7.10月



とりあえず、集まって話す！！

- 県や各市の**業務実態を初めて共有**  
例：道路維持業務でも、契約方法が異なる

山口県	地域別に、1年を通じて1社と <b>総価契約</b>
下松市	舗装：1年を通じて1社と <b>単価契約</b> その他：地域別に、4半期毎に1社と <b>総価契約</b>
光市	案件ごとに、 <b>個別発注</b> ～契約
周南市	舗装等：地域別に、1年を通じて1社と <b>単価契約</b> その他：案件ごとに、 <b>個別発注</b> ～契約

- 実務の課題、解決したいことを議論
- 構築するシステムに求める機能を議論

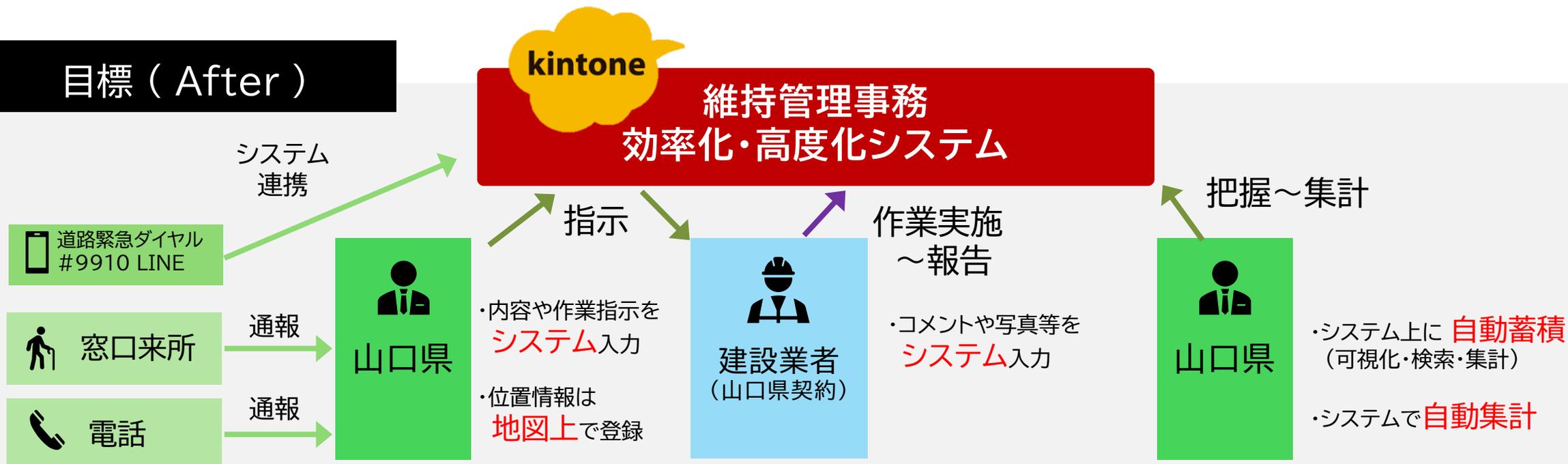
(2) 県と3市で共同利用可能な「維持管理事務効率化・高度化システム」を開発中

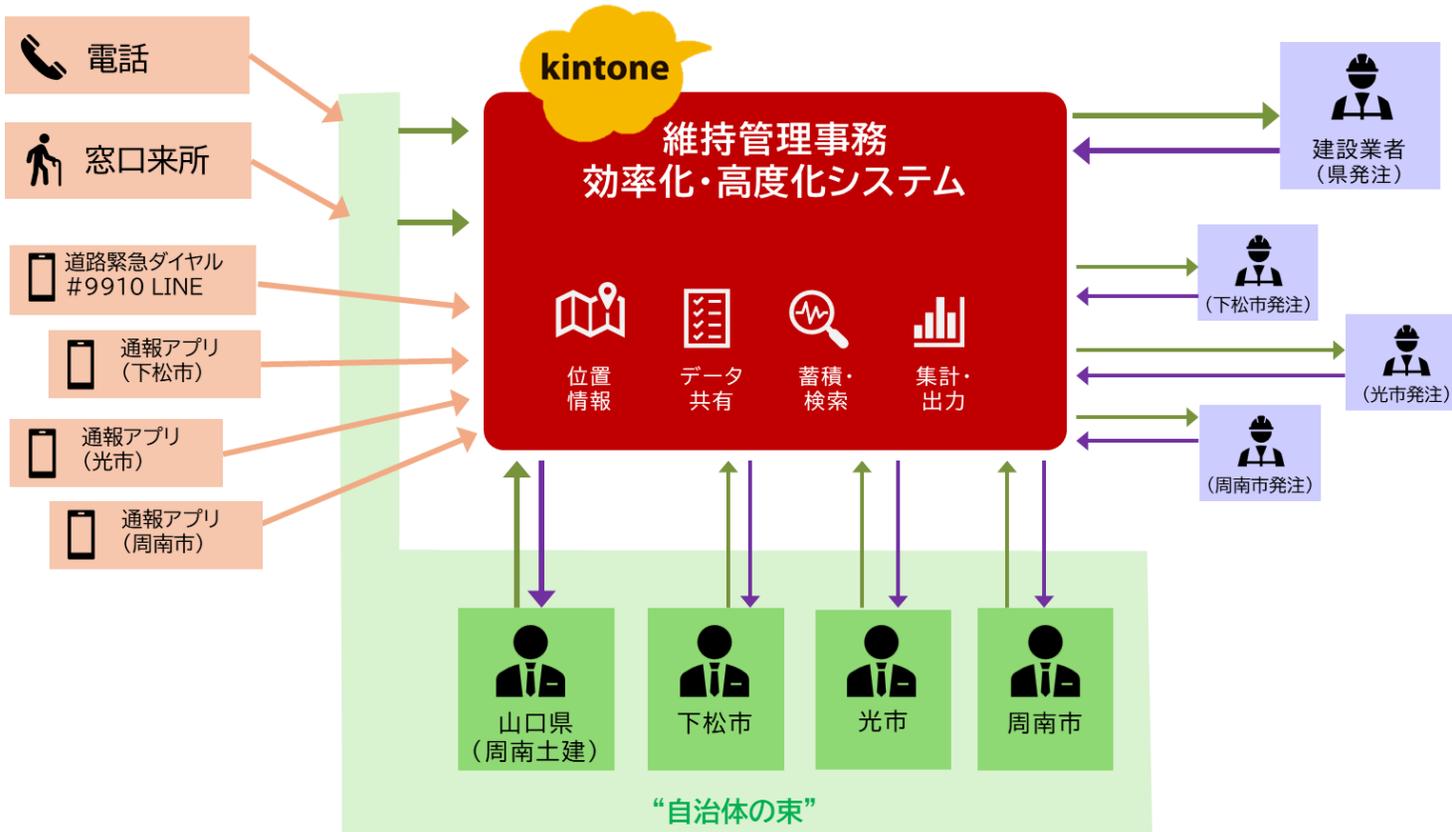


現状 ( Before )



目標 ( After )

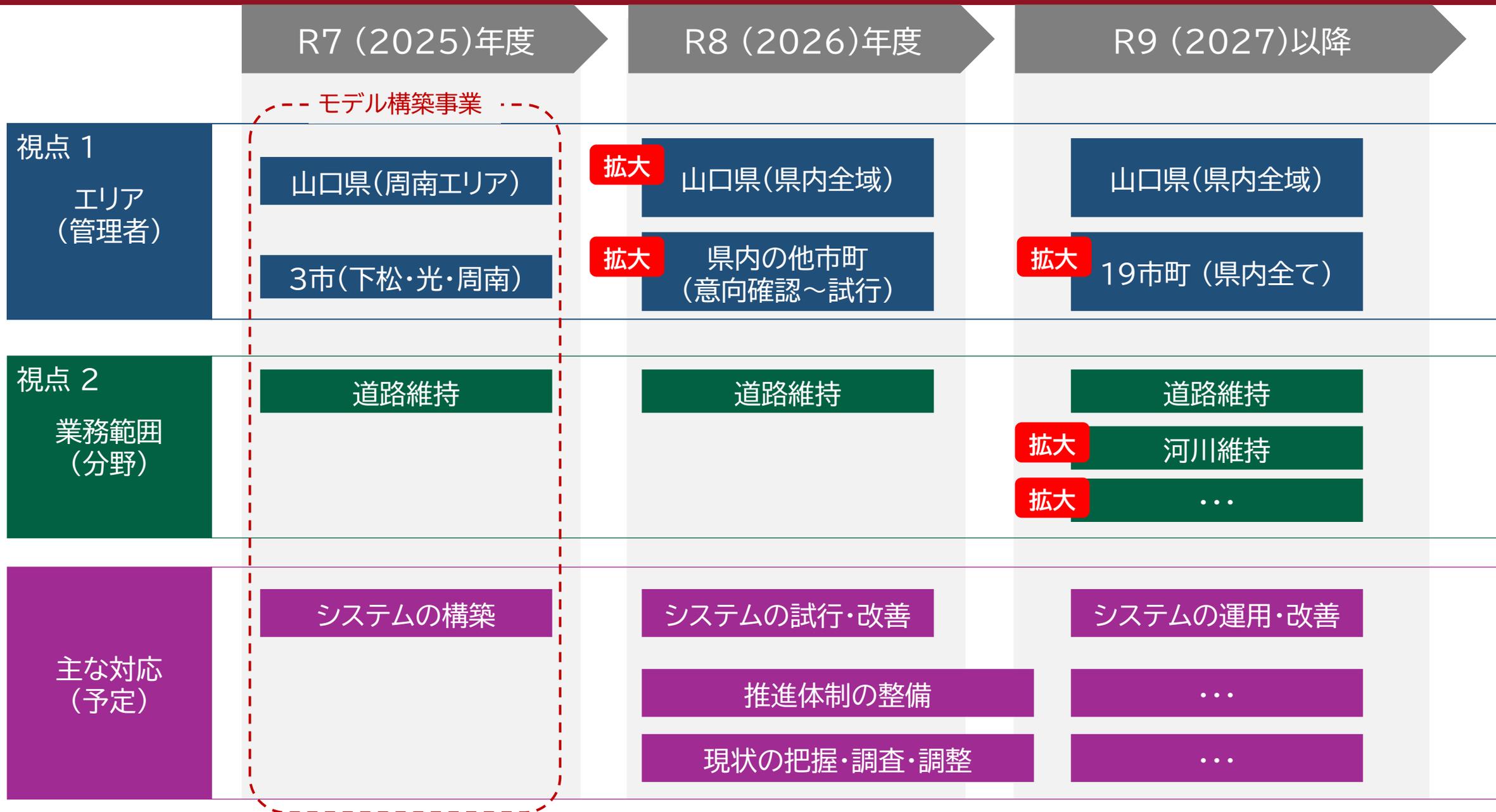




## システムで実現しそうなこと

- ① 通報内容の把握 が楽になる！
- ② 建設業者への指示 が楽になる！
- ③ 建設業者の報告 が楽になる！
- ④ 対応実績の集計 が楽になる！
- ⑤ 別管理者への連絡 が楽になる！
- ⑥ 過去対応の確認 が楽になる！

・  
・  
・



### (1) 住民・インフラ利用者のサービス向上

- 問合せ対応等の円滑化
- 対応の進捗、対応実績の見える化

### (2) 県～市町の交流・連携の強化

- 各自治体の事務処理を最適化
- 県と市町との適切な役割分担、広域連携

### (3) 建設現場の生産性向上（県や市町、建設業者）

### (4) 維持管理の高度化（蓄積データの分析、活用）

行政サービスの維持・向上

持続的で、効率的・効果的な  
インフラマネジメントの実現

当面、2026年度以降は・・・

- 適用エリア拡大（3市→県全域19市町）
- 他分野連携（道路+河川、公園など）
- 建設業者のサウンディング調査

## (1) 住民・インフラ利用者のサービス向上

「住民のためになるか」を考えて取り組もう！

## (2) 県～市町の交流・連携の強化

良いところはパクる！ 最適な役割分担を目指す！

## (3) 建設現場の生産性向上

実務者を少しでも楽に！（ゆとりがないと変革できない）

## (4) 維持管理の高度化

属人化・紙書類より、データ・デジタルが楽ちん！

行政サービスの維持・向上

持続的で、効率的・効果的な  
インフラマネジメントの実現

当面、2026年度以降は・・・

- 適用エリア拡大（3市→県全域19市町）
- 他分野連携（道路+河川、公園など）
- 建設業者のサウンディング調査

### (1) Win-Winの関係の確保を前提とする

県と市町、さらには現場を支える民間企業が、それぞれにメリットを実感できる仕組みづくりを最優先とします。どこか一者に負担が偏るのではなく、互いに協力し合うことで、より良いインフラ管理と住民サービスの向上を実現していきます。

### (2) まずは県管理施設の群マネから段階的に着手する

県自身が主体的に取り組み、効果や運用ノウハウを蓄積することで、市町への横展開に説得力を持たせます。「県が自ら実践し、成果を示す」ことを前提に、無理のない形でスモールスタートし、確実なステップアップを図ります。

### (3) 市町へ積極的に発信し、取組を共有する

県の取組状況、得られた知見、活用できるツール等を、タイムリーかつ分かりやすく提供します。市町が必要なタイミングで参画できるよう、押し付けではなく“選択できる関わり方”を提示することを重視します。

### (4) できることから着実に取り組む

制度面・人員体制・予算などの制約を踏まえつつ、実施可能な部分から確実に進めていきます。完璧な形を待つのではなく、小さな成功を積み重ねながら改善を続けることで、現場の負担軽減と効率化につなげます。

## 1 イントロ（群マネ、広域連携に臨む際の基本認識）

- ・ 国、県、市町村の関係を正しく理解して、役割分担と連携を意識しよう
- ・ インフラマネジメントは、住民・利用者目線で行おう

## 2 山口県庁内の「ゲリラ勉強会」の様子

- ・ 仲間との「勉強会」なら、気軽に始められる
- ・ 「群マネ」を正しく理解して、自分たちの課題を考えよう

## 3 山口県の取組状況、今後

- ・ 周南地域の「広域連携モデル事業」では、まず現場を楽にする共通ツールを導入
- ・ 県が果たすべき役割を意識して、関係者全体のWin-Winを目指す

## 山口県建設DX推進計画(第参版)の方向性



本県の建設DXをさらに推進していくため、デジタル技術の進展や建設産業のニーズ等を踏まえ、以下の視点で具体的な取組の充実を図る。

- ✓ これまでも取り組んできた、**地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**の考え方を更に加速させることや、新しいデジタル技術や国・他県の取組成果等を取り込む  
⇒ 具体的な取組を追加・ロードマップの見直し
- ✓ これまでの取組の内、可能なものは、深化・加速化を行い、必要なものは、さらなる検討を行う  
⇒ ロードマップを見直し

1

第零版 2023.2

第壹版 2024.1

第貳版 2025.1

第参版 2026.1 **New !**

